

経営比較分析表（令和元年度決算）

長野県地方独立行政法人長野県立病院機構 木曾病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
地方独立行政法人	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	18	対象	ド透I未訓ガ	救臨感へ災輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
-	16,275	非該当	10:1	

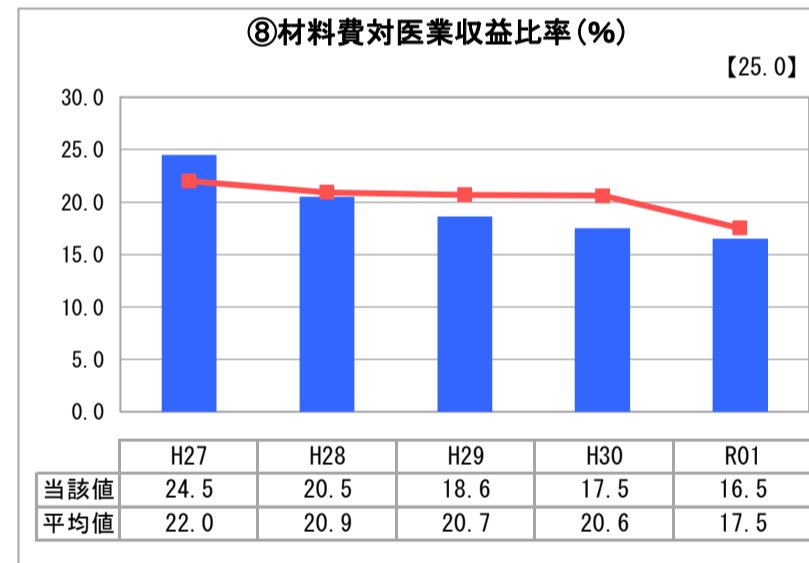
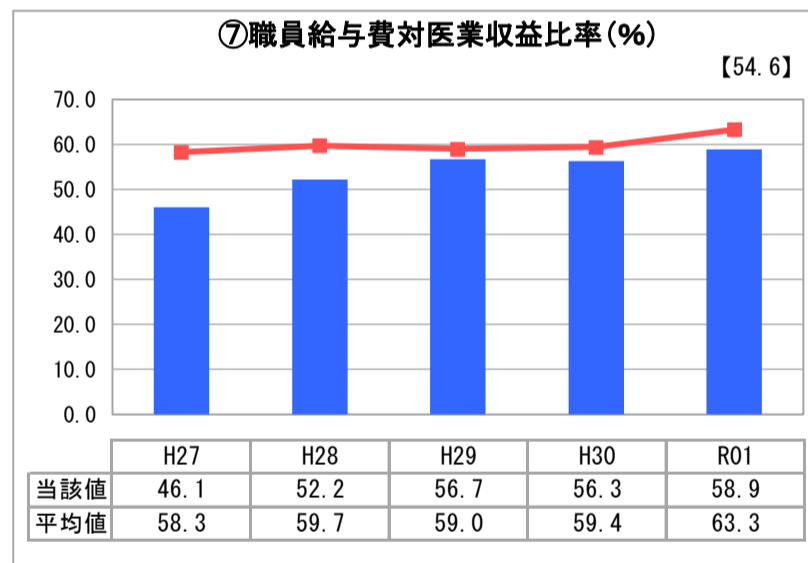
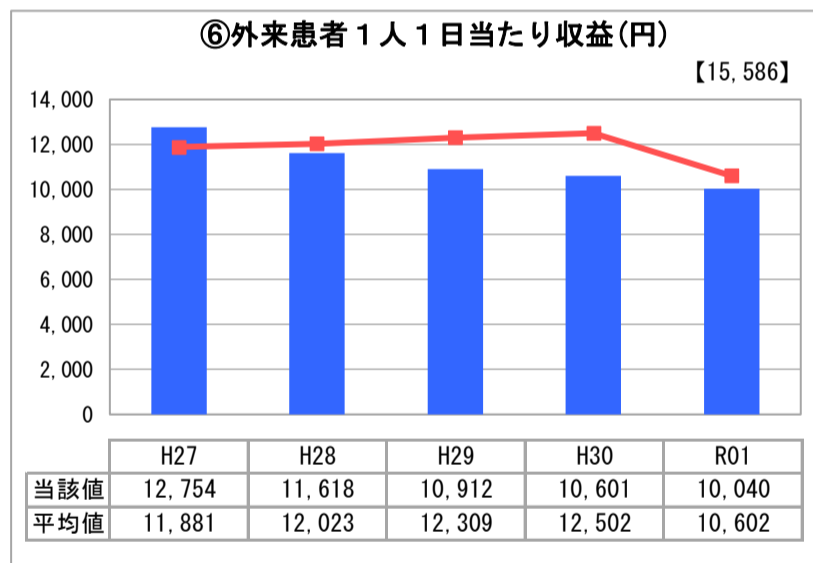
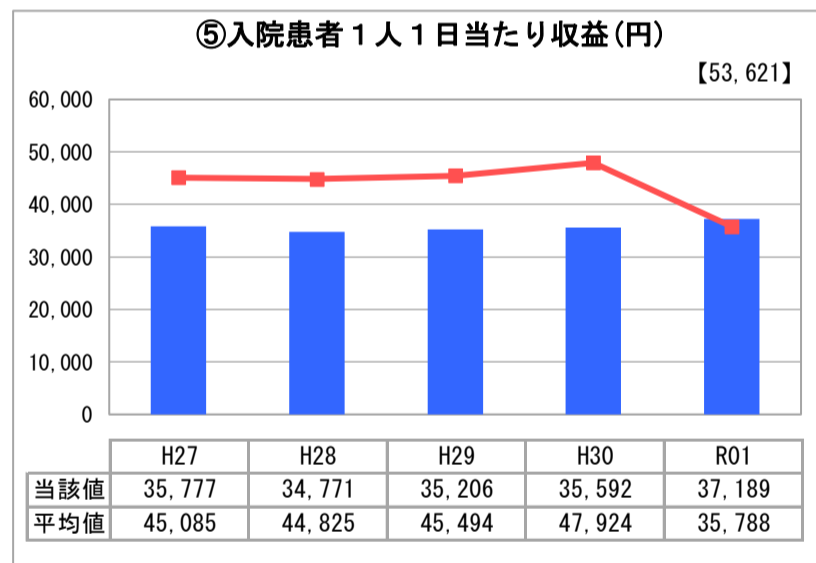
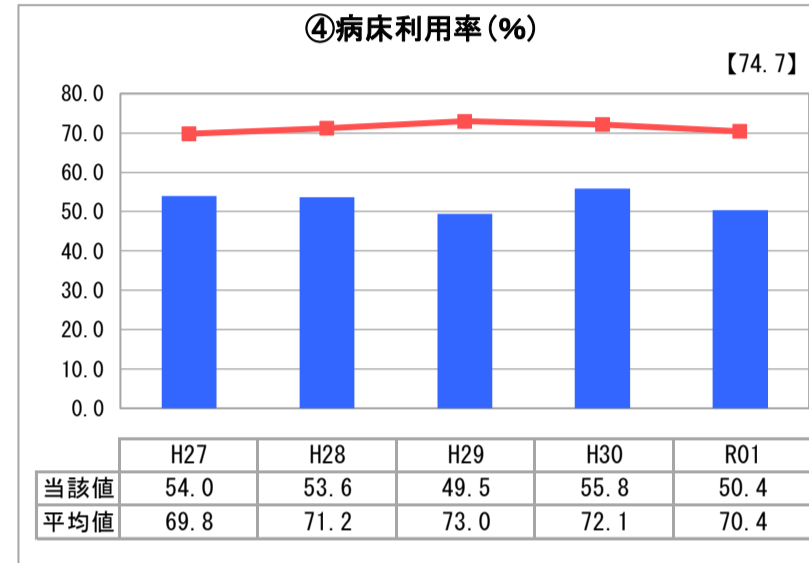
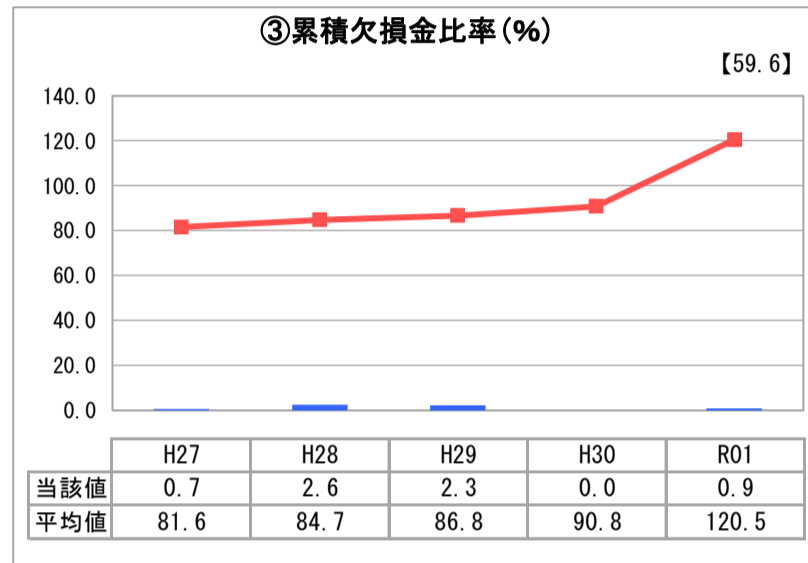
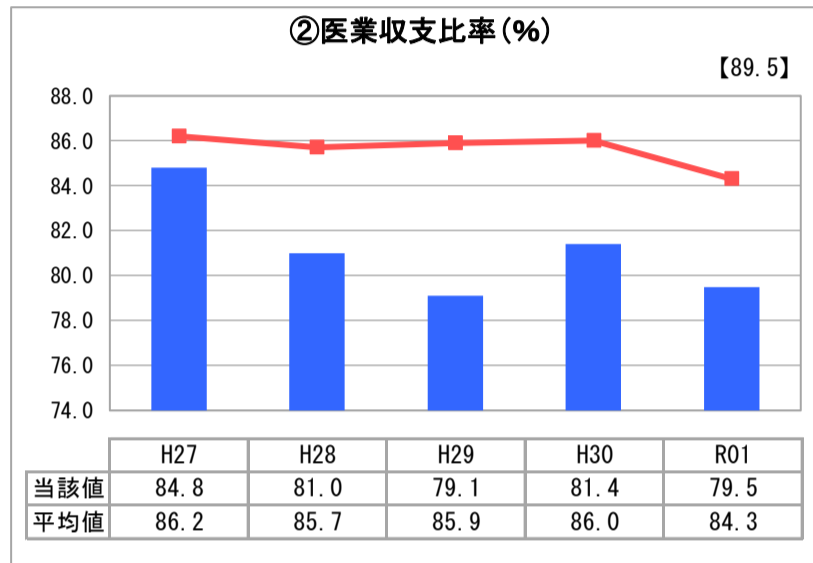
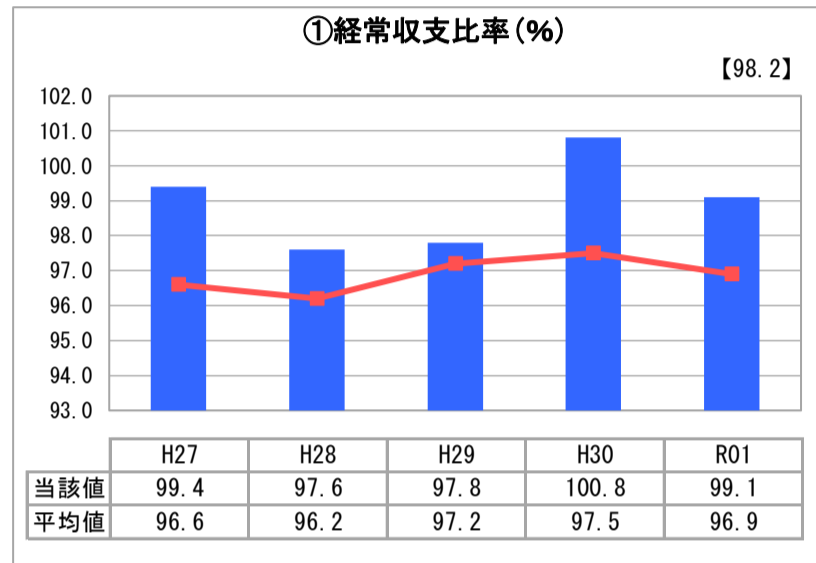
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

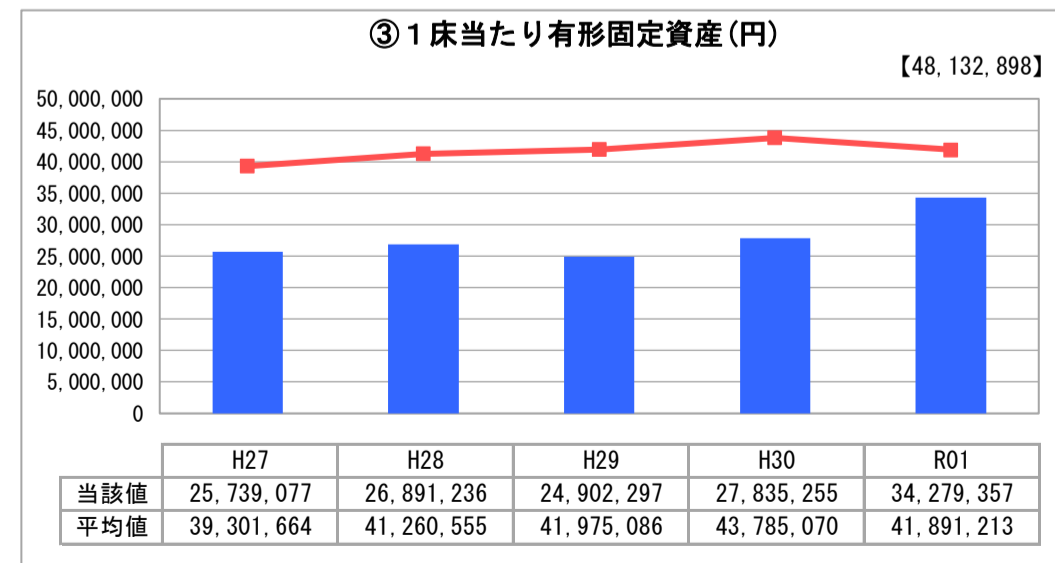
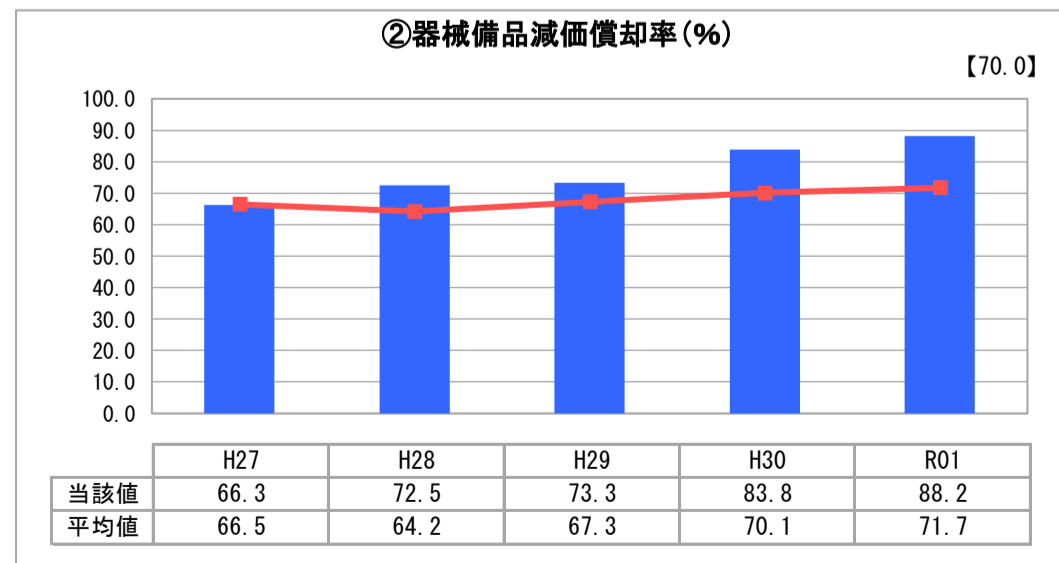
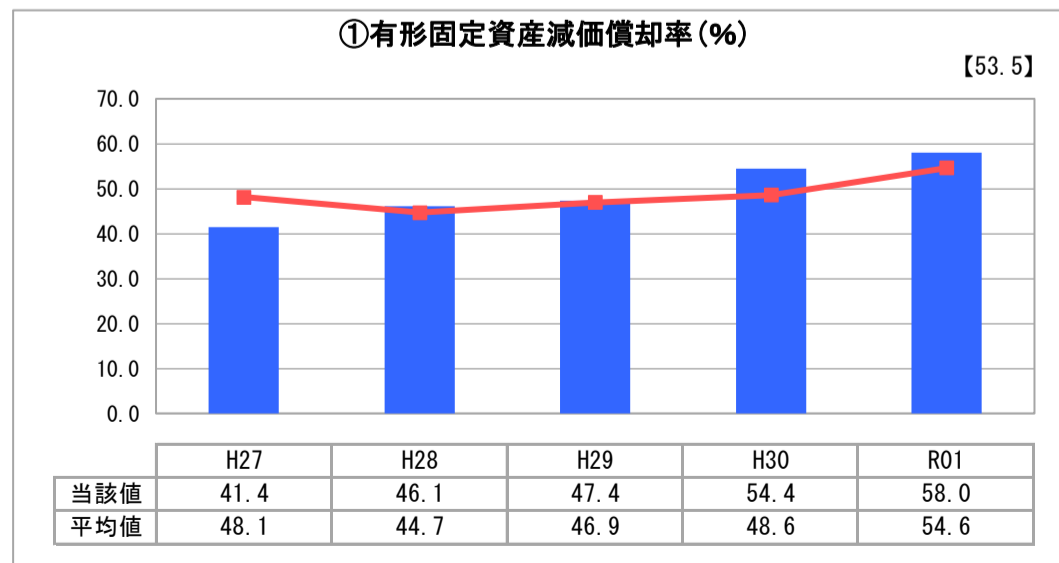
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
176	19	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	4	199
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
128	19	147

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【】	令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	平成22年度	-

I 地域において担っている役割

当院は、木曾医療圏で唯一の病院として、24時間365日体制による救急の対応、災害時における医療活動の拠点としての活動、無医地区への巡回診療やへき地診療所への支援、地域がん診療病院としてのがん治療など、地域医療を提供している。

また、令和2年3月に介護医療院を開院し医療と介護を一体的に提供する体制を整えたと共に、併設の木曾介護老人保健施設と提携し医療と福祉の切れ目のないサービスを提供している。

当医療圏は中山間地域であり、高齢化が進んでいることから、訪問看護等の在宅医療への地域からの期待は大きい。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- 令和元年度は、①経常収支比率、②医業収支比率ともに前年度を下回った。
- ④病床利用率は、入院患者数減少の影響を受けたことにより前年度と比較して減少した。
- ⑦職員給与費対医業収益比率は、患者数減少に伴う医業収益の減少により比率が上昇、⑧材料費対医業収益比率は、薬品費の減少により、前年度を下回る比率となった。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産、機械備品減価償却費率は類似病院の平均値をいずれも上回っており、老朽化は解消されていない。

将来的には、施設の全面改築も含めて検討が必要である。

全体総括

木曾地域の人口減少、救急搬送件数の減少、インフルエンザ患者の減少、新型コロナウイルス感染症流行等への対応の要因により、入院患者数が減少し、病床利用率が全国平均を大きく下回っている。検診等の予防医療や訪問看護等の在宅医療を推進するなど医療の質を向上させながら支出を必要最小限に抑え、経営の効率化を図る必要がある。

※ 「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。